Excel によるグラフの作成

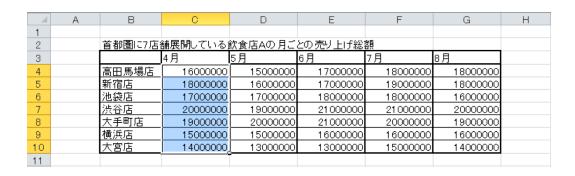
ここでは、Excel により棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフを作成する手順について説明します。

Excel での棒グラフの作成

ここでは、以下の例題を通じて、Excelで棒グラフを作成する手順について学習します。

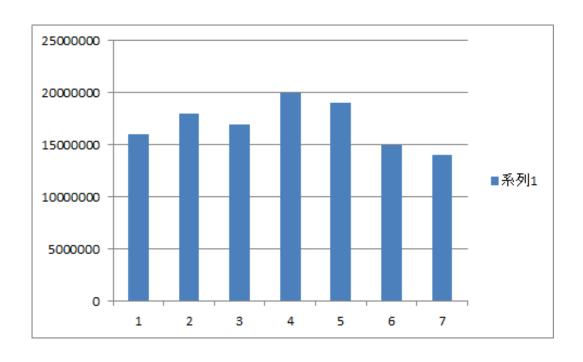
例題 1 「Excel でのグラフの作成.xlsx」の「Sheet1」には、首都圏に 7 店展開している、ある飲食店 A の売上データがある。以下の手順に従い、4 月の各店舗の売上について、棒グラフを作成せよ。

グラフにしたいデータ(「4月の売り上げ」)部分を選択する。

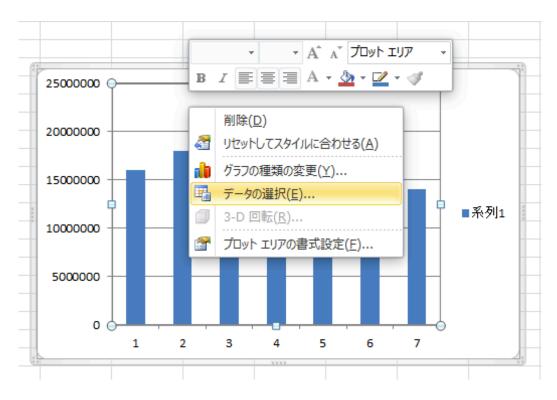


● メニューバーの【挿入】>【縦棒】から左上の棒グラフを選択する.





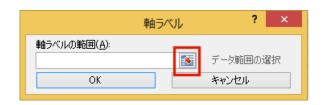
- 以下の手順でグラフの横軸のラベルを編集する
 - グラフ内の適当なところを右クリックし、【データの選択】をクリックする.



- データソースの選択画面で「横(項目)軸ラベル」の【編集】をクリックする.

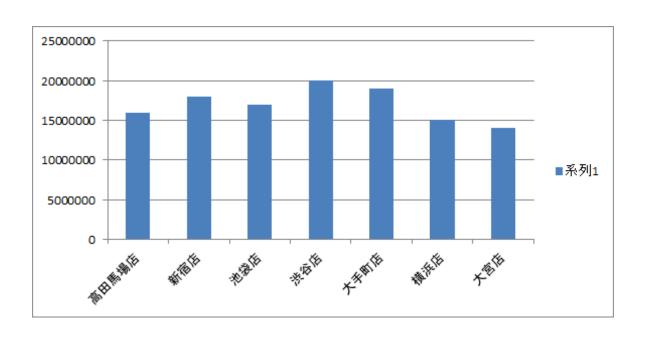


- 「軸ラベルの範囲」の右にあるボタンをクリックする.

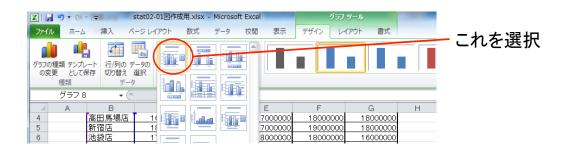


- 店名部分 (B4 セル~B10 セル) を選択し、軸ラベル画面の右のボタンをクリックし、【OK】ボタンをクリックする.

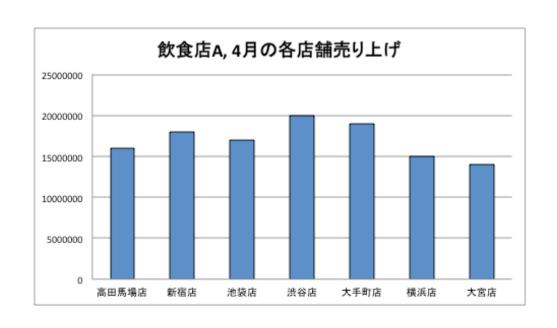




- 以下の手順でグラフのデザインを変更する.
 - グラフを選択する.
 - メニューバーの【グラフツール】>【デザイン】>【グラフのレイアウト】から適切なレイアウトを選ぶ. ここでは左上のレイアウトを選ぶ.



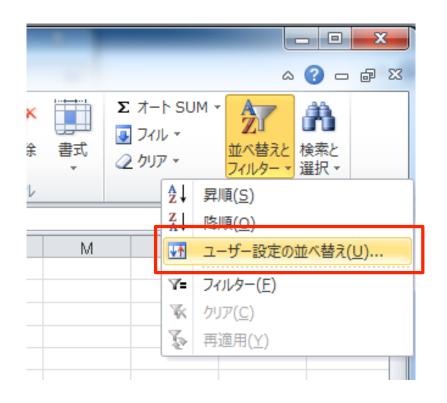
- グラフタイトルに適切な名前を入れる. グラフタイトルをクリックするとテキスト が編集可能になる.
- ※ グラフの右に配置されている「系列 1」という部分は凡例といい、そのグラフが何のグラフであるかを表すものです。今回のように 1 つの棒グラフしか無い場合には、グラフタイトルにその情報が含まれるので凡例は不要です。凡例部分をクリックで選択し、delete キーで削除しましょう。



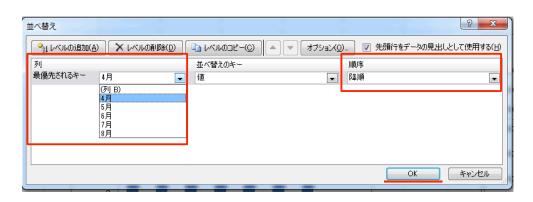
- 以下の手順で横軸の項目を大きい順に並べ替える.
 - 元のデータの、「各店舗名」「全ての月の売り上げ」部分を選択する。「月」の部分も選択すること。

	Α	В	С	D	Е	F	G	Н
1								
2		首都圏IC7店	舗展開している	ある飲食店の月	ごとの売り上げ	総額		
3			4月	5月	6月	7月	8月	
4		高田馬場店	16000000	15000000	17000000	18000000	18000000	
5		新宿店	18000000	16000000	17000000	19000000	18000000	
6		池袋店	17000000	17000000	18000000	18000000	16000000	
-7		渋谷店	20000000	19000000	21 000000	21 000000	20000000	
8		大手町店	19000000	20000000	21 000000	20000000	19000000	
9		横浜店	15000000	15000000	16000000	16000000	16000000	
10		大宮店	14000000	13000000	13000000	15000000	14000000	
11								

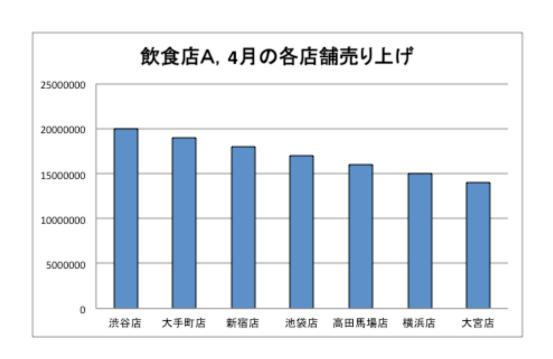
- メニューバーから【ホーム】>【並べ替えとフィルター】>【ユーザー設定の 並べ替え】を選択する.



- 並べ替えウィンドウで【優先されるキー】を「4月」に設定し、【順序】を「降順」に設定し、【OK】をクリックする.



- 元のデータの順番が入れ替わり、グラフの表示順序も変わる.



Excel での円グラフの作成

ここでは、以下の例題を通じて、Excel で円グラフを作成する手順について学習します.

例題 2 「Excel でのグラフの作成.xlsx」の「Sheet1」にある飲食店 A の 4 月の売り上げの、各店舗構成割合について、円グラフを作成せよ.

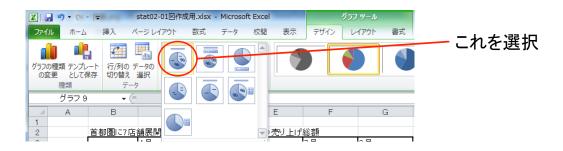
●「各店舗名」と「4月の売り上げ」部分を選択する.

	А	В	С	D	Е	F	G	Н
1								
2		首都圏に7店	舗展開している	ある飲食店の月	ごとの売り上げ	総額		
3			4月	5月	6月	7月	8月	
4		渋谷店	20000000	19000000	21 000000	21 000000	20000000	
5		大手町店	19000000	20000000	21 000000	20000000	19000000	
6		新宿店	18000000	16000000	17000000	19000000	18000000	
7		池袋店	17000000	17000000	18000000	18000000	16000000	
8		高田馬場店	16000000	15000000	17000000	18000000	18000000	
9		横浜店	15000000	15000000	16000000	16000000	16000000	
10		大宮店	14000000	13000000	13000000	15000000	14000000	
11								

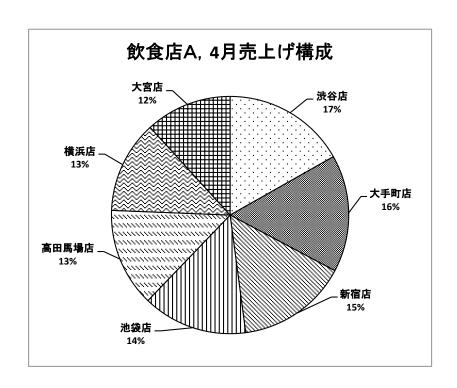
● メニューバーから【挿入】>【円】から左上の円グラフを選択する.



- 以下の手順でグラフのデザインを変更する.
 - グラフを選択する.
 - メニューバーから【グラフツール】>【デザイン】>【グラフのレイアウト】 から適切なレイアウトを選ぶ. ここでは左上のレイアウトを選ぶ.



• グラフタイトルに適切な名前を入れる.



- 項目の順番を並べ替えたい場合、棒グラフの場合と同様の手順で元のデータを並べ替える。
- ※ この図では、白黒印刷時の見易さを考慮し、レイアウトや色の塗りつぶしを変更しているので、上記の手順で作成されるものとは異なる点に注意して下さい。

Excel での折れ線グラフの作成

ここでは、以下の例題を通じて、Excel で折れ線グラフを作成する手順について学習します。

例題 3 「Excel でのグラフの作成.xlsx」の「Sheet1」の飲食店 A の渋谷店・大手町店・新宿店の「4 月」から「8 月」までの売り上げの変化について折れ線グラフを作成せよ.

まずは渋谷店のみの売り上げの変化について折れ線グラフを作成します.

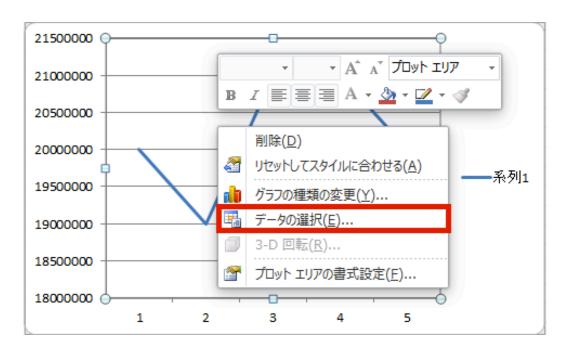
• 渋谷店の「売り上げ」部分を選択する.

	А	В	С	D	Е	F	G	Н
1								
2		首都圏IC7店	舗展開している!	飲食店Aの月ご	との売り上げ総	客頁		
3			4月	5月	6月	7月	8月	
4		高田馬場店	16000000	15000000	17000000	18000000	18000000	
5		新宿店	18000000	16000000	17000000	19000000	18000000	
6		池袋店	17000000	17000000	18000000	18000000	16000000	
7		渋谷店	20000000	19000000	21 000000	21 000000	20000000	
8		大手町店	19000000	20000000	21 000000	20000000	19000000	
9		横浜店	15000000	15000000	16000000	16000000	16000000	
10		大宮店	14000000	13000000	13000000	15000000	14000000	
11								

● メニューバーから【挿入】>【折れ線】から左上の折れ線グラフを選択する.



- 以下の手順でグラフの横軸のラベルを編集する
 - グラフ内の適当なところを右クリックし、【データの選択】をクリックする.



- データソースの選択画面で「横(項目)軸ラベル」の【編集】をクリックする.

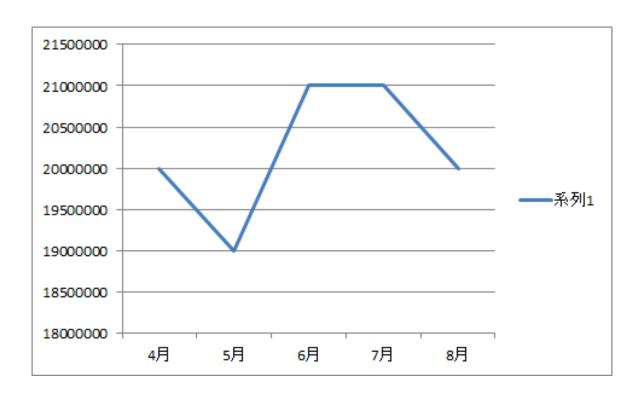


- 「軸ラベルの範囲」の右にあるボタンをクリックする.

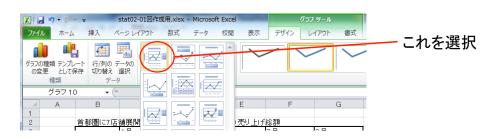


-4月~8月(C3 セル~G3 セル)を選択し、軸ラベル画面の右のボタンをクリックし、【OK】ボタンをクリックする.

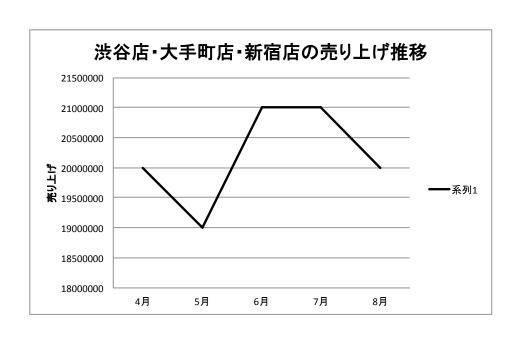




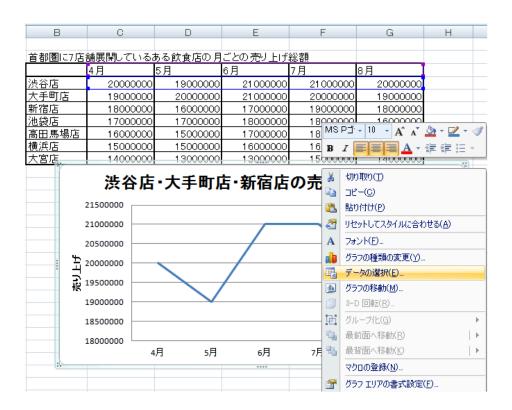
- 以下の手順でグラフのデザインを変更する.
 - グラフを選択する.
 - メニューバーから【グラフツール】>【デザイン】>【グラフのレイアウト】 から適切なレイアウトを選ぶ. ここでは左上のレイアウトを選ぶ.



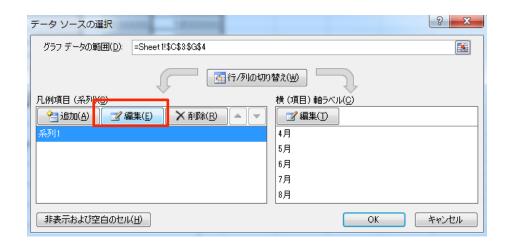
• グラフタイトルと縦軸に適切な名前を入れる.



● この折れ線が「渋谷店」のものであることを示すために、以下の手順で凡例を変更する. グラフを右クリックし、【データの選択】を選択する.



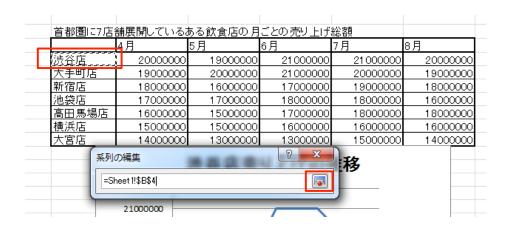
● データソースの選択画面で「系列1」を選択し、【編集】をクリックする.



• 系列の編集画面で系列名の右にあるボタンをクリックする.

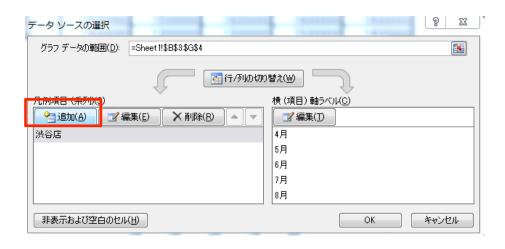


●「渋谷店」と書いてあるセルを選択し、系列の編集画面の右のボタンをクリックし、 【OK】ボタンをクリックする。



次に大手町店と新宿店のデータを追加します.

• データソースの選択画面で【追加】をクリックする.



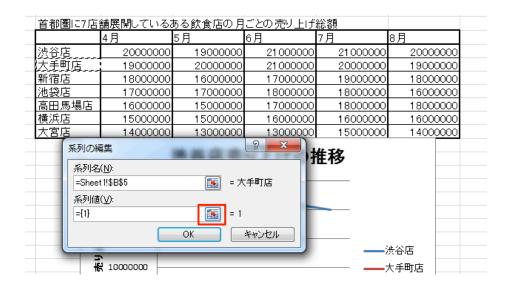
• 系列の編集画面で系列名の右にあるボタンをクリックする.



「大手町店」と書いてあるセルを選択し、系列の編集画面の右のボタンをクリックする。



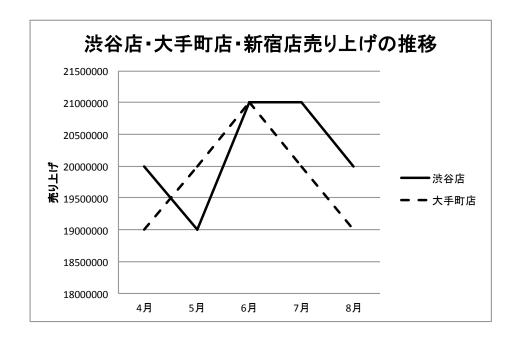
• 系列の編集画面で系列値の右にあるボタンをクリックする.



● 大手町店の売り上げ部分を選択し、系列の編集画面の右のボタンをクリックし、 【OK】ボタンをクリックする.

	4月	5月	6月	7月	8月
渋谷店 📕	20000000	19000000	21.000000	21.000000	20000000
大手町店	19000000	20000000	21,000,000	20000000	19000000
新宿店	18000000	16000000	17000000	19000000	18000000
池袋店	17000000	17000000	18000000	18000000	16000000
高田馬場店	16000000	15000000	17000000	18000000	18000000
横浜店	15000000	15000000	16000000	16000000	16000000
大宮店	14000000	13000000	13000000	15000000	14000000
系列の¥ =Shee	i集 t1!\$C\$5:\$G\$5	***	? x	推移	

ここまでの操作で大手町店の売り上げデータの折れ線が追加されています。同様に、【データソースの選択】>【追加】から、同じ手順で新宿店も追加してみましょう*1.

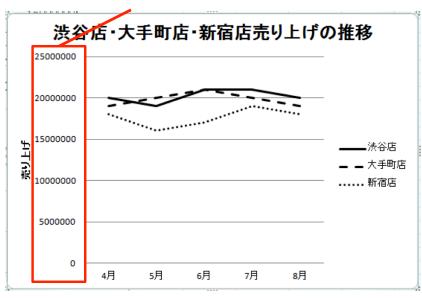


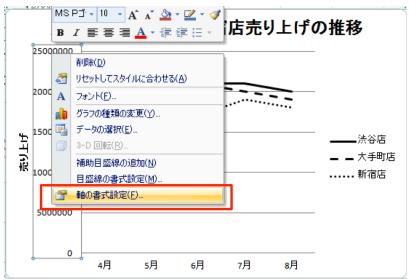
^{*1} ここでもモノクロでの見易さを考慮してグラフの線のスタイルを変更しています.

次に、縦軸の目盛の調整方法について説明します.

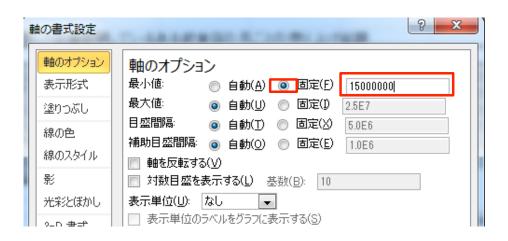
• グラフの縦軸数字周辺を右クリックし、【軸の書式設定】を選択する.

この辺りを右クリック





- 以下の手順で縦軸の目盛を調整する.
 - 軸の書式設定ウィンドウで【軸のオプション】を選択し、【最小値】の部分を 「固定」にチェックする.
 - 軸の最小値として適切な値を設定(今回は15000000と入力)する.
 - 【閉じる】をクリックする.



• 縦軸の最小値が変更される.

